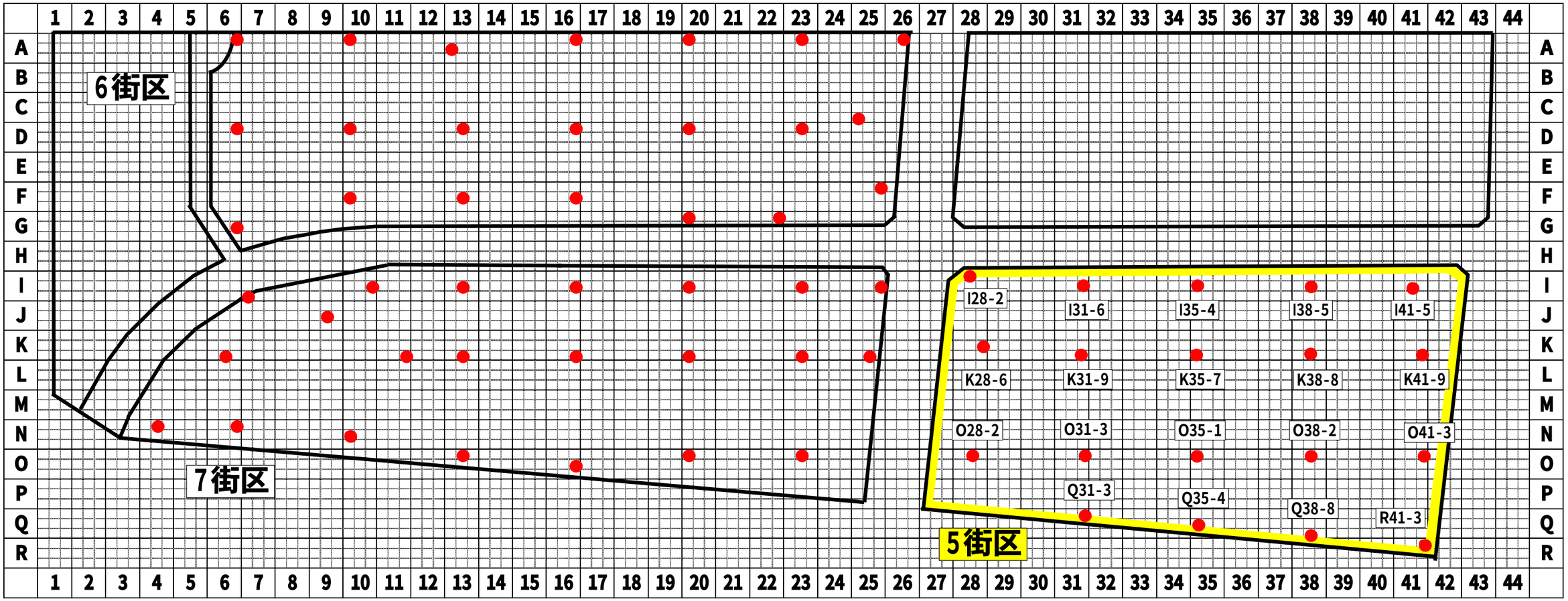
土壌･地下水の詳細調査先行ボーリング実施箇所図【5街区】



凡 例

● ： 先行ボーリング実施箇所

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	5	3	8	9

シートNo

ボーリング名	I28-2	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内							北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場				調査期間	平成 20年 2月 18日 ～ 20年 2月 19日				東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古	現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅			ボーリング責任者	中出　孝士
孔口標高	AP +6.50m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦D1-B型	ハンマー落下用具 ―
総掘進長	9.70m								エンジン	ヤンマーNFD12-EK	ポンプ ―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。φ20～30㎜の円礫を雑多に混入する。不均質で，GL-0.45～0.50，2.70～2.90mにコンクリートガラを混入する。礫の混入率は40%程度である。														
2																							
3	2.60	3.90	3.90																				
4					貝殻混り細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。コア形状を保てず，低平化するものが多い。全体に貝殻細片を多く混入する。	2/18 4.12 ▽													
5																							
6																							2/18
7																							
8																							
9	-2.70	5.30	9.20																				
	-3.20	0.50	9.70		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。含水中程度で均質である。粗粒分の混入は殆どない。														2/19
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	5	4	2	0

シートNo

ボーリング名	I31-6	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内							北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場				調査期間	平成 20年 2月 18日 ～ 20年 2月 20日				東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古		現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅		ボーリング責任者	菅原　稔
孔口標高	AP +7.75m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	カノKR-150	ハンマー落下用具 ―
総掘進長	9.00m								エンジン	ヤンマーNFD12-EK	ポンプ ―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ20～50mmの円礫を雑多に混入する。 不均質で，GL-3.8～4.30mにコンクリートガラを混入する。 礫の混入率は20%程度である。 GL-2.9m以深が旧施工面である。 GL-3.90mに異形鉄筋を混入する。	2/18 2.74 ▽													
2																							
3																							
4	3.45	4.30	4.30																				2/18
5					シルト混り細粒砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。 コア形状を保てず，低平化するものが多い。 GL-5.8～6.2mに砂質シルトを挟有する。 GL-6.4mに貝殻細片を混入する。 全体にシルト分が多い。														
6																							
7																							
8	-0.65	4.10	8.40																				
9	-1.25	0.60	9.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 粗粒分の混入は殆どない。														2/20
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	5	4	5	4

シートNo

ボーリング名	I35-4	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内							北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場				調査期間	平成 20年 2月 15日 ～ 20年 2月 15日				東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古		現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅		ボーリング責任者	加藤　武
孔口標高	AP +6.82m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	TONE-ECO-PROBE EP-26	ハンマー落下用具 -
総掘進長	8.00m								エンジン	-	ポンプ -

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2 3	3.82	3.00	3.00		盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ20～30mmの円礫を雑多に混入する。 不均質で，GL-2.15～2.85mにコンクリートガラを混入する。 礫の混入率は40%程度である。	2/15 1.61
4 5 6 7	-0.68	4.50	7.50		シルト混り細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。 コア形状を保てず，低平化するものが多い。 GL-3.0～3.3mは暗茶灰色の細砂よりなる。 GL-3.3～4.0mは暗茶灰色のシルト質細砂よりなる。	
8	-1.18	0.50	8.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 粗粒分の混入は殆どない。	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
												2/15

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 5 4 8 2

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	I38-5	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場				**調査期間**	平成 20年 2月 15日 ～ 20年 2月 15日				**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	津田　大樹
孔口標高	AP +6.90m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	8.50m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1 2 3	3.30	3.60	3.60		盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ20～30mmの円礫を雑多に混入する。 不均質で，GL-2.90～3.65mにコンクリートガラを混入する。 礫の混入率は40%程度である。	2/15 2.57													
4 5 6 7	-1.10	4.40	8.00		シルト混り細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。 コア形状を保てず，低平化するものが多い。 GL-3.6～4.5mは暗茶灰色でやや粒度が粗い。														
8	-1.60	0.50	8.50		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 粗粒分の混入は殆どない。														2/15
9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	5	5	0	9

シートNo

ボーリング名	I41-5	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内							北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場				調査期間	平成 20年 2月 21日 ～ 20年 2月 21日				東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古		現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅		ボーリング責任者	津田　大樹
孔口標高	AP +6.87m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	TONE-ECO-PROBE EP-26	ハンマー落下用具	—
総掘進長	10.00m								エンジン	—	ポンプ	—

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2 3	3.07	3.80	3.80		盛土	暗黄灰		軟らかい	礫混り粘土よりなる。φ5～50mmの円礫をやや多く混入する。基質は軟質な粘土である。礫の混入率は20～30%程度である。GL-3.3～3.8mはコンクリートガラよりなる。	2/21 2.88
4	2.07	1.00	4.80		砂礫	黒灰	緩い		旧地盤。φ10～20mmの細礫を主とする。最大礫径は50mmである。淘汰の良い砂礫である。	
5 6	0.37	1.70	6.50		貝殻混り細砂	暗青灰		軟らかい	微細粒砂よりなり，粒子は均等である。GL-5.0～6.0mはコアが低平化する。	
7	-0.13	0.50	7.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	軟質で均質である。粗粒分の混入は殆どない。	
8	-2.13	2.00	9.00		貝殻混り細砂	黒灰	緩い		貝殻細片を少量混入する。全体に緩い。部分的にコア形状を保ち得ない。	
9 10	-3.13	1.00	10.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質で均質である。GL-9.3m付近までは砂分がやや多い。	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
												2/21

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	5	7	5	3

シートNo

ボーリング名	K28-6	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内							北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場				調査期間	平成 20年 2月 18日 ～ 20年 2月 18日				東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古	現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅			ボーリング責任者	遠山　茂樹
孔口標高	AP +6.52m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	TONE-TOP-EC04C	ハンマー落下用具 —
総掘進長	7.50m								エンジン	—	ポンプ —

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2	4.02	2.50	2.50		盛土	茶褐		軟らかい	礫混りの砂質シルトよりなる。 礫率は30%程度である。 GL-3.10mにコンクリートガラを混入する。 盛土としては比較的均質である。	2/19 1.29
3 4	2.52	1.50	4.00		礫混り中砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。φ10～30mmの円礫，角礫を雑多に混入する。 GL-2.85～3.0mにコンクリートガラを混入する。 旧盛土と推定される。	
5 6	0.02	2.50	6.50		細砂	暗青灰	緩い		淘汰の良い細砂よりなる。 GL-4.95mに小円礫を混入する。	
7	-0.23 -0.43	0.25 0.20	6.75 6.95		シルト	暗青灰		軟らかい	軟質なシルトよりなる。	
	-0.98	0.55	7.50		細砂	暗黒灰	緩い		微細砂よりなる。 全体に貝殻細片を混入する。	2/18
8					粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質である。 均質で，油膜が認められる。	
9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19										

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
2/19 1.29													
2/18													

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 5 7 8 3

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	K31-9	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場				**調査期間**	平成 20年 2月 19日 ～ 20年 2月 20日				**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	遠山　茂樹
孔口標高	AP +7.88m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	11.00m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ20～30mmの亜角礫を雑多に混入する。 不均質で，GL-4.85～4.60mにコンクリートガラを混入する。 GL-4.7mにレンガ片を混入する。 基質のシルトは軟質である。	2/19 1.95													
2																							
3																							
4	3.28	4.60	4.60																				2/19
5					細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 全体にシルト分が多い。 次の深度に砂質シルトを挟有する。 GL-6.2～6.75m,GL-7.0～7.2m,GL-7.55～7.95m,GL-8.0～9.0m。 コアは概ね自形を保つ。														
6																							
7																							
8																							
9																							
10	-2.62	5.90	10.50																				
11	-3.12	0.50	11.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 粗粒分の混入は殆どない。														2/20
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 5 8 1 7

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	K35-7	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内						**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場			**調査期間**	平成 20年 2月 16日 ～ 20年 2月 16日				**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅		**ボーリング責任者**	加藤　武
孔口標高	AP +6.66m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	8.50m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
3	3.46	3.20	3.20		盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。φ10～50mmの円礫を雑多に混入する。不均質で，GL-2.60～3.00mにコンクリートガラを混入する。礫の混入率は40%程度である。GL-2.0m付近までは細粒土が優勢で，以深は砂質土が優勢となる。	2/16 1.87
7	-0.74	4.20	7.40		シルト混り細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。コア形状を保てず，低平化するものが多い。GL-5.7mは貝殻細片を多く混入する。	
	-1.04	0.30	7.70		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	軟質な粘性土である。含水中程度で均質である。細砂分を少量混入する。	
	-1.34	0.30	8.00							
	-1.84	0.50	8.50		細砂	黒青灰	緩い		微細な砂質土よりなる。	2/16
					粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。貝殻細片を少量混入する。含水中で，軟質である。	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 5 8 4 5

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	K38-8	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場				**調査期間**	平成 20年 2月 16日 ～ 20年 2月 16日				**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	津田　大樹
孔口標高	AP +6.83m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	8.50m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2 3	3.43	3.40	3.40		盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ20～30mmの円礫を雑多に混入する。 不均質で，GL-2.90～3.65mにコンクリートガラを混入する。 礫の混入率は40%程度である。	2/16 2/20 ▽
4 5 6 7 8	-1.17	4.60	8.00		シルト混り細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。 コア形状を保てず，低平化するものが多い。 GL-3.6～4.5mは暗茶灰色でやや粒度が粗い。	
	-1.67	0.50	8.50		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 粗粒分の混入は殆どない。	2/16
9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19										

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 5 8 7 3

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	K41-9	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北　緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場				**調査期間**	平成 20年 2月 16日 ～ 20年 2月 16日				**東　経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	津田　大樹
孔口標高	AP +6.96m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	8.50m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	2.96	4.00	4.00		盛土	暗茶灰		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 上部0.80mまでは淘汰の良い砂質土。 φ10～30mmの円礫を雑多に混入する。 礫の混入率は40%程度である。 部分的に砂礫が優勢となる。	2/16 2.35
	-1.04	4.00	8.00		シルト混り細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。 コア形状を保てず，低平化するものが多い。 GL-6mよりコアの変形が多い。	
	-1.54	0.50	8.50		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 粗粒分の混入は殆どない。	2/16

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 6 4 6 9

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	028-2	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内					**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場			**調査期間**	平成 20年 2月 21日 ～ 20年 2月 21日			**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅	**ボーリング責任者**	遠山　茂樹
孔口標高	6.90m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	
総掘進長	10.00m								

試錐機	TONE-TOP-EC04C	**ハンマー落下用具**	—
エンジン	—	**ポンプ**	—

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2 3 4	2.90	4.00	4.00		盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ10～30mmの円礫を雑多に混入する。 GL-2.6～2.7mに木杭片を混入する。 GL-2.7m以深はやや硬質となる。	2/21 3.42
5 6	0.40	2.50	6.50		細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 シルト分のやや多い細砂である。 部分的にコアが低平化する。	
7 8 9	-2.10	2.50	9.00		シルト・細砂互層	暗青灰	緩い		含水中程度で均質である。 シルトと細砂の互層で各単層の層厚は30～50cm程度である。	
10	-3.10	1.00	10.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質で粘性小である。 上部30cm程度は砂分がやや多い。	2/21
11 12 13 14 15 16 17 18 19										

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	6	4	9	7

シートNo

ボーリング名	031-3	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内							北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場			調査期間	平成 20年 2月 19日 ～ 20年 2月 19日					東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古	現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅			ボーリング責任者	竹内　国広
孔口標高	AP +6.54m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	TONE-TOP-EC04C	ハンマー落下用具 —
総掘進長	10.50m								エンジン	—	ポンプ —

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1 2 3	3.04	3.50	3.50		盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。φ10～30㎜の円礫を雑多に混入する。不均質で，GL-2.80～3.10mにコンクリートガラを混入する。礫の混入率は40%程度である。														
4	2.44	0.60	4.10		細粒砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。シルト分のやや多い細粒砂である。	2/19 4.20													
	1.84	0.60	4.70		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	軟質な粘性土である。含水中程度で均質である。細粒分の混入は殆どない。														
5	1.14	0.70	5.40		細粒砂	暗黒灰	緩い		シルト分のやや多い細粒砂である。														
6	-0.21	1.35	6.75		シルト	暗青灰		軟らかい	含水中程度で均質である。														
7 8	-1.56	1.35	8.10		細粒砂	暗黒灰	緩い		シルト分のやや多い細粒砂である。														
9 10	-3.46	1.90	10.00		シルト質細粒砂	暗黒灰	緩い		シルトと細粒砂の互層で，上部は細粒砂が優勢である。														
	-3.96	0.50	10.50		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。含水中程度で均質である。														2/19
11 12 13 14 15 16 17 18 19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 6 5 3 1

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	035-1	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場				**調査期間**	平成 20年 2月 16日 ～ 20年 2月 16日				**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	加藤　武
孔口標高	AP +6.49m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	8.00m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
3	3.29	3.20	3.20		盛土	茶黄		軟らかい	φ10～30mmの円礫を多く含む粘土～細砂よりなる。 色調はGL-2.3mより暗青灰色となり、細砂が優勢となる。	2/16 2.37
7	-1.01	4.30	7.50		シルト混り細粒砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 GL-5.1～5.5m,5.6～5.8mに極軟質なシルトを挟有する。 GL-6.0～7.5mは含水大で、コアは自形を保ちえない。	
8	-1.51	0.50	8.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。極めて軟質なシルトである。	2/16

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 6 5 5 9

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	038-2	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場			**調査期間**	平成 20年 2月 19日 ～ 20年 2月 19日					**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	加藤　武
孔口標高	6.55m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	7.50m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2	3.65	2.90	2.90		盛土	茶褐		軟らかい	φ10～50mmの角礫を多量に混入する。 礫率は40%。 基質は砂質シルトである。	2/19 1.85
3	3.05	0.60	3.50		コンクリート	灰			旧地盤。コンクリートガラ。	
4	1.80	1.25	4.75		礫混り粘土	茶灰		軟らかい	4.1mに未炭化木片が混入する。	
5 6	-0.25	2.05	6.80		細粒砂	暗黒灰	緩い		ややシルト質で若干の小礫を混入する。 コア形状を保てず，低平化するものが多い。 微細粒砂よりなる。	
7	-0.95	0.70	7.50		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 細粒分の混入は殆どない。	
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19										

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
												2/19

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 6 5 8 7

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	041-3	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場			**調査期間**	平成 20年 2月 18日 ～ 20年 2月 18日					**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	津田　大樹
孔口標高	6.76m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	8.00m								**エンジン**	―	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	2.86	3.90	3.90		盛土	茶褐～暗青灰		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 上部0.60mまでは小礫を混入する中粒砂からなる。 φ10～30mmの円礫を雑多に混入する。 不均質で，GL-3.20～3.35mにコンクリートガラを混入する。 GL-3.35～3.90mは小礫混り細砂よりなる。	2/18 3.25
	-0.74	3.60	7.50		シルト混り細粒砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。 コア形状を保てず，GL-5.4m以深は低平化するものが多い。 所々にシルトを塊状に混入する。	
	-1.24	0.50	8.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 細粒分の混入は殆どない。	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
												2/18

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 6 8 5 7

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	Q31-3	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場				**調査期間**	平成 20年 2月 19日 ～ 20年 2月 19日				**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	菅原　稔
孔口標高	AP +6.57m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	カノKR-150	**ハンマー落下用具**	―
総掘進長	11.00m								**エンジン**	ヤンマーNS-70	**ポンプ**	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。φ10～30mmの亜角礫を雑多に混入する。GL-3m付近より砂分が多くなる。GL-4.2mにコンクリートガラを挟有する。														
2																							
3																							
4	2.02	4.55	4.55							2/19 4.20													
5					細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。全体にシルト分が多く，GL-7.7～8.0mは砂質シルトよりなる。GL-5.5～7.2mに未炭化木片を多量に混入する。微細砂が主体をなす。														
6																							
7																							
8																							
9																							
10	-3.83	5.85	10.40																				
11	-4.43	0.60	11.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。含水中程度で均質である。細粒分の混入は殆どない。														2/19
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	6	8	9	4

シートNo

ボーリング名	Q35-4	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内							北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場				調査期間	平成 20年 2月 17日 ～ 20年 2月 17日				東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古		現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅		ボーリング責任者	加藤　武
孔口標高	AP +6.48m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	TONE-ECO-PROBE EP-26	ハンマー落下用具	―
総掘進長	9.00m								エンジン	―	ポンプ	―

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					盛土	茶褐		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ10～50㎜の亜角礫を雑多に混入する。 GL-3m付近より砂分が多くなる。 礫の混入率は40%程度である。 部分的に砂礫が優勢となる。	2/17 4.10 ▽													
2																							
3																							
4	1.68	4.80	4.80																				
5					シルト混り細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤。 含水が大で，コアと伴に地下水が採取される。 コア形状を保てず，低平化するものが多い。 所々にシルトを塊状に混入する。 微細砂が主体をなす。															
6																							
7																							
8	-2.02	3.70	8.50																				2/17
9	-2.52	0.50	9.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。軟質な粘性土である。 含水中程度で均質である。 粗粒分の混入は殆どない。														
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

ボーリングNo　1 5 0 0 0 0 0 6 9 2 5

事業・工事名　先行ボーリング

シートNo

ボーリング名	Q38-8	**調査位置**	東京都江東区豊洲六丁目地内							**北緯**	
発注機関	東京都中央卸売市場				**調査期間**	平成 20年 2月 18日 ～ 20年 2月 18日				**東経**	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	**主任技師**	市川　勝比古	**現場代理人**	白井　雅和	**コア鑑定者**	山田　毅			**ボーリング責任者**	加藤　武
孔口標高	AP +6.55m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	鉛直 水平0° 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	TONE-ECO-PROBE EP-26	**ハンマー落下用具**	—
総掘進長	10.00m								**エンジン**	—	**ポンプ**	—

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1					盛土	茶灰		軟らかい	φ10～30mmの円礫を多量に含む粘土よりなる。 礫の混入率30%程度。														
2																							
3																							
4	2.55	4.00	4.00																				
	1.55	1.00	5.00		中砂	黄茶灰	緩い		旧地盤（盛土）。 敷砂状の中砂からなる。	2/18 4.77													
5																							
6																							
7					細砂	黒灰	緩い		全体に極くルーズで，GL-7～9mは水混り砂状コアとなる。 GL-7.6～7.9mは細礫を混入する。														
8																							
9	-2.95	4.50	9.50																				
	-3.45	0.50	10.00		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。 均質なめらか。														2/18
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							

ボーリング柱状図

調　査　名　豊洲新市場予定地における土壌・地下水詳細調査委託（その１）

事業・工事名　先行ボーリング

ボーリングNo	1	5	0	0	0	0	0	7	1	2	7

シートNo

ボーリング名	R41-3	調査位置	東京都江東区豊洲六丁目地内					北緯	
発注機関	東京都中央卸売市場			調査期間	平成 20年 2月 18日 ～ 20年 2月 18日			東経	
調査業者名	いであ株式会社 電話（03-4544-7690）	主任技師	市川　勝比古	現場代理人	白井　雅和	コア鑑定者	山田　毅	ボーリング責任者	津田　大樹
孔口標高	6.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	8.60m								
試錐機	TONE-ECO-PROBE EP-26	ハンマー落下用具	—						
エンジン	—	ポンプ	—						

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	3.76	2.75	2.75		盛土	暗緑灰		軟らかい	礫混り粘土よりなる。 φ5～50mmの円礫を少量混入する。 基質は軟質な粘土である。 礫の混入率は10%程度である。	2/18 1.85
	2.51	1.25	4.00		シルト質細砂	暗黒灰	緩い		旧地盤（盛土）。 φ10～50mmの亜角礫を雑多に混入する。 GL-3.5mに金属片を混入する。	
	-0.79	3.30	7.30		シルト質細砂	暗青灰	緩い		コア形状を保てず，所々にφ10mm以下の小礫を混入する。	
	-1.09	0.30	7.60		砂礫	暗黒灰	緩い		φ5～20mmの円礫よりなる。 淘汰の良い砂礫である。	
	-1.49	0.40	8.00		細砂	暗青灰	緩い		微細砂よりなる。	
	-2.09	0.60	8.60		粘土質シルト	暗青灰		軟らかい	Yc層。含水大で軟質である。 均質である。	2/18

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日